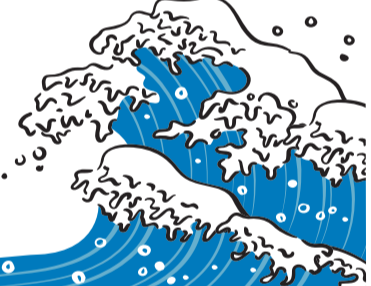
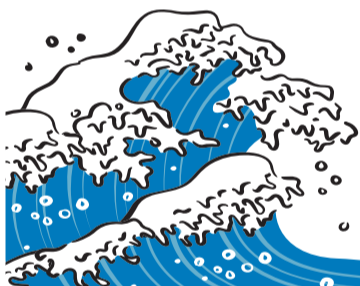




. Y O K O S U K A C I T Y .

変化する久里浜のまちなみ



かつて農漁業のまちとして栄えた「久里浜」。
今では、大型商業施設や警察署が新たに建設され、これからも新市立病院等の建設など大きく変化している「久里浜」のまちなみをテーマに取り上げます。

F・Marinos Sports Park (Tricolore Base Kurihama) の誕生



2023年サッカーJ1横浜F・マリノスのトップチーム練習場が本市久里浜1丁目にオープンしました。JR及び京急久里浜駅より徒歩約10分という駅近立地です。

駅からこの施設までの道のりには、久里浜駅前自転車等駐車場・消防団第40分団詰所があり、壁面はF・マリノスカラーに装飾されています。歩道や電柱にはわかりやすい目印なども設置されています。

新たに完成した練習場は、敷地面積約36500㎡、天然サッカーグラウンド2面（約500席の観客席）、人工芝フットサルコート1面と2階建てのクラブハウスから成り立っています。

今回はオープンしたばかりの当施設を案内していただき、取材してきました。

クラブハウス玄関前には、日産スタジアム方向を見守るマリノス君の銅像が出迎えてくれます。建物に入ると1階正面玄関には昨年も含めて優勝した記念であるChampionフラッグが5つ掲示されクラブの輝かしい歴史を感じることができます。1階には、選手のトレーニングジム・ロッカーや浴室等があります。2階には展望室・レストラン（一般利用可）・会議室（一般利用可）があり、今回チームミーティングルームや監督室など普段ではなかなか入ることのできない貴重な部屋も見学させていただきました。

取材当日はACL（アジアチャンピオンズリーグ）初戦の日で、少し前まで施設内はピリピリした雰囲気だったのではないのでしょうか？そのような状況下での取材協力、ありがとうございました。

Sports Parkという施設名称には、横浜F・マリノストップチームの練習拠点としてだけでなく、公園のように開かれた場所として街の人が集い、スポーツによる地域振興の中心になれるようにとの思いがこめられているとのこと。久里浜に完成したこの施設でトップチームの選手たちには、世界に向かって羽ばたいてほしいと願います。ぜひみなさんも世界を目指すこのSports Parkを訪れ、プロスポーツを身近に感じてみてはいかがでしょうか？（鈴木委員）

くりはま花の国より久里浜港を望む!!

久里浜港と千葉県富津市の金谷を結ぶ東京湾フェリー乗り場や横須賀火力発電所まで見渡せ、海の向こうには房総半島の壮大な景色が望めるビュースポット。写真は今から15年前、2008年11月に撮影したものと、現在の景色を同じ角度から撮影したもので、発電所の煙突が大きく変わっていることが分かります。

現在の横須賀火力発電所は JERA の火力発電所ですが、元は東京電力の火力発電所でした。

横須賀火力の発電設備は、2010年4月から全て長期計画停止となりました。しかし、東日本大震災により太平洋に面した複数の火力発電所が被災し、電力の供給力が大幅に低下したため、横須賀火力の発電設備を再稼働させることになりました。

その後、被災した火力発電所などの復旧に伴い再び停止されることになり、2017年3月31日をもって全号機の廃止決定がなされ、その後撤去工事が開始されました。

現在は、石炭を燃料とする1号機が2023年6月30日より運転を開始し、建設中の2号機が2023年度内に運転開始される予定です。(加藤委員)



↑平成20年11月撮影



↑令和5年9月撮影

久里浜でんしゃ公園



JR久里浜駅のすぐ隣!!
駐車場もあるよ!!

私は久里浜地区に住んでから、37年になりますが、「でんしゃ公園」の名前を聞いたのは初めてでした。令和4年5月にできた新しい公園だそうで、JRの線路沿いにあり電車が通るのがよく見えるため、でんしゃ公園と名付けられたのではないのでしょうか。名前からして、初めは京急の倉庫内にでもあるのかな?とっていたのですが、JR久里浜駅前の遊技場の駐車場辺りから平作川沿いに車で入ると、200~300mほどのところに公園利用者駐車場があります。そこに車を停め駅の方へ少し戻るように歩いて行きます。

人工的に作られた池を見ていると、なんと鷺(サギ)が飛び立って行きました。(こんなところにもいるんですね。)広い公園内には、ぶら下がりや上体ひねりの健康遊具や、パラボラ集音器などがあります。集音器は10mほどの間隔を置いてお椀状のパラボラが対に配置され、それぞれのところで囁くとすぐ後ろの耳元でしゃべっているように良く聞こえて面白いものでした。小さな子どもが遊べるような滑り台や電車型のベンチなどもあり、今度は孫と来てみようと思いました。(山田委員)

横須賀市立総合医療センター建設中!!

2023年9月現在、神明公園内においてうわまち病院の移転新築工事が進められております。

そもそも、うわまち病院は建物の老朽化により建替えを行う予定でしたが、建替えの際の進入路幅が困難な点と、敷地の一部がレッドゾーンと呼ばれる土砂災害特別警戒区域に指定された(移転計画時にはまだ指定されていないが指定されることは確実だった)事により建築をする際の防災対策工事に相当な時間を要することが判明し移転が決定しました。

移転先の建設候補地として、馬堀海岸公園、大津公園、根岸交通公園、神明公園の4箇所が選定されましたが、各地域からの救急搬送シミュレーション等を勘案した結果、最終的に神明公園に決定したそうです。

新たに建設される新病院の名称は市民の応募から「くりはま花の国病院」、「くりはま病院」、「久里浜神明病院」、「南病院」、「総合医療センター」の5つの案が選定され、最終的に『横須賀市立総合医療センター』に決定しました。現在建設中の新病院は7階建てで、近隣住宅地に対する日照への配慮や、津波が起こった場合でも被害を避けられるよう設計されており、屋上にはヘリポートを設置、一般駐車場は170台(うち5台は車いす用)となる予定です。

診療科目数は現在のうわまち病院と同じ28科ですが、病床数は現在の417床より33床多い450床となります。2025年3月1日の開業を目指しており、開業の暁にはマリノスタウンや建造中の火力発電所とともに久里浜地区の新たなシンボルとなるでしょう。(志村委員長)



↑令和5年9月時点の工事写真



↑外観完成予想パース



↑鳥瞰完成予想パース

infomation

第27回都市景観フォーラムを開催します!

「横須賀 リノベーションから考えるまちづくり」をテーマに全国の様々な現存不動産を有効活用し、そのポテンシャルを最大限引き出し新たな価値を創り出した、いちご株式会社 執行役員社長兼COO 石原実氏にご講演いただきます。

日時: 令和6年2月4日(日)

開場 13:00 開演 13:30 終演 16:00

場所: ヴェルクよこすか 6階ホール



■令和5年度よこすか都市景観協議会会員

□正会員 9団体

(一社) 神奈川県建築士会横須賀支部 / (一社) 神奈川県建築士事務所協会横須賀支部 / ミーズ設計連合協同組合 / (公社) 神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部 / (公社) 全日本不動産協会神奈川県本部横須賀支部 / 横須賀建設業関連団体協議会 / 横須賀商工会議所 / (公社) 横須賀青年会議所 / 横須賀市

□オブザーバー会員 3団体

神奈川県横須賀土木事務所 / 東京電力パワーグリッド(株)藤沢支社 / 東京ガス(株)神奈川西支店

よこすか都市景観協議会会員募集中です

よこすか都市景観協議会

検索

発行: よこすか景観ニュース・HP 編集委員会

委員長: 志村 貴治 委員: 加藤 雄治、鈴木 玲成、山田 順二、高橋 弦基

事務局: 横須賀市 都市部 まちなみ景観課

電話 046-822-8377